

鈴鹿高専

ポケットガイド2017



NIT,Suzuka College

NATIONAL
INSTITUTE OF
TECHNOLOGY



日本技術者教育認定機構（JABEE）認定校
大学評価・学位授与機構高等専門学校評価基準認定校



独立行政法人国立高等専門学校機構
鈴鹿工業高等専門学校

集まる 若人

秩序の中に

自由をよここび

鍛えられる 海のほとりに

鍛えられる 山のおろしに

～鈴鹿工業高等専門学校 校歌より～

鈴鹿高専ポケットガイド 平成29年度版

発行 平成29年6月

独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL : 059-386-1031 (代表)

FAX : 059-387-0338

<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>



総務課総務企画係	TEL : 059-368-1711
総務課経理係	TEL : 059-368-1721
学生課教務係	TEL : 059-368-1731
学生課学生支援係	TEL : 059-368-1732
学生課入試係	TEL : 059-368-1739
図書館	TEL : 059-368-1733

基本理念

教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力和実践力を育成します。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

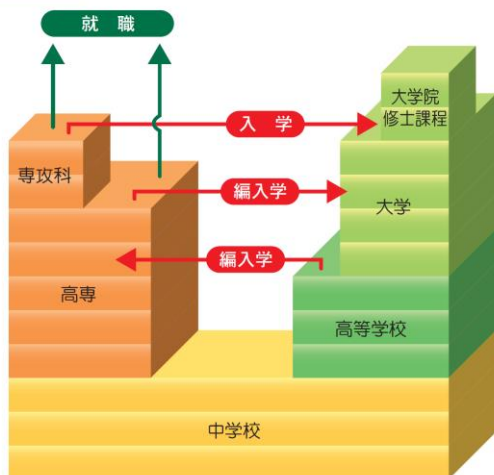
養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成します。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力和実践力を備えた人材を養成します。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成します。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成します。

求める入学志願者像

- (1) 中学における学習内容をしっかりと理解している人
- (2) 数学や理科に興味を持ち、科学の発展に夢を持っている人
- (3) 何事にも積極的に挑戦し、自ら進んで学習できる人
- (4) 他人を思いやり、協調していける人

高専制度



アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目で下車。バス停から徒歩7分。



校内地図



学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための理論と専門知識、並びに豊富な実験技術を得得させるとともに、応用・展開力と創造性を養います。



各学科の特徴

機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加え、メカトロニクス・ロボット工学などコンピュータ応用技術に関する幅広い知識、さらに CAD/CAMを用いた最先端の設計技術・加工技術も習得します。

電気電子工学科

電力・鉄道などのインフラからスマートフォンやデジタル家電など様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・IT産業などの分野で活躍できる技術者を目指し、電気電子技術・情報通信技術を学びます。また、本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

電子情報工学科

プログラミングや計算機アーキテクチャ、ネットワークやOSなどソフトウェア系分野と、電磁気、電気回路、電子回路、デバイスなどハードウェア系分野、および制御分野に代表されるソフトウェアとハードウェアの融合領域に関する知識を学び、マイコンやFPGA等を用いた技術も習得します。

生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」と生物工学を学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共に医薬・化粧品などのファインケミカルズ、プラスチック、環境保全などに関連する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論とバイオテクノロジーをそれぞれ学びます。

材料工学科

材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等の材料工学の基礎的な理論と知識・技術を学び、材料の製造、研究・開発に柔軟かつ適切に対応できる実践的能力を養います。生活や産業の発展を材料の視点から支え、グローバル社会で活躍する技術者を目指します。

専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学に関連する分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を得得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てます。

また、各専攻所定の単位を取得し、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格すると、修了時に大学卒業と同等の学位（学士）が授与されます。

（平成29年度4月以降入学）

総合イノベーション工学専攻



本専攻は、3コース（環境・資源コース、エネルギー・機能創成コース、ロボットテクノロジーコース）で編成され、各専門分野で培った高度な技術を発展させるとともに、次世代の新技术を創成できる広い視野と幅広い知識を有した創造的実践的技術者を育成します。また、グローバルエンジニアプログラムを設置し、国際的に通用する高度な技術を持ち、リーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。

（平成29年度3月以前入学）

電子機械工学専攻



機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクスおよび情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を得得させるとともに、研究開発能力を養います。

（平成29年度3月以前入学）

応用物質工学専攻



ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセス、環境保全・リサイクル技術および機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を得得させるとともに、研究開発能力を養います。

世界水準を保証する

技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る「ものづくり」に必要な生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術および新たな価値を創り出すことができる力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指します。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。

目 標

1 教育に関する目標

【学科教育】

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を身に付けた人材を育てます。

【専攻科教育】

より高度で幅広い専門知識や創造力、判断力を身に付け、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者を育てます。

2 研究に関する目標

教育内容を学術の進展に即応させるため、継続して研究を行います。そのために必要な学術的研究のみならず先進的な研究、学科間を越えた複合・融合領域研究、産学官連携による共同研究・受託研究も推進します。これらの研究成果を発表や知的財産化等で広く社会に提供し、人材育成および地域・産業界に貢献します。

3 社会との連携や国際交流に関する目標

地域交流・地域連携・産学官連携等を通じて本校の教育研究の成果を社会に還元し、その連携協力を努めます。また、地域の生涯学習機関としての役割を果たします。

さらには、外国の高等教育機関との協定に基づく学生の国際交流を継続発展させ、国際的な視野と知見を備えた技術者の育成を図るとともに、留学生の受入れを積極的に行います。

4 管理運営に関する目標

校長のリーダーシップの下に、運営会議を中心とした施策立案、審議執行及び評価監査のサイクルを確立するとともに、迅速かつ効率的な運営を図るため、運営会議及び各種委員会の位置付け、機能及び審議・協議事項の明確化を図ります。

また、本校における教育研究等の活動全般について自己点検・評価を行うとともに、広く外部からの意見を取り入れ、開かれた学校運営を行います。

さらには、限られた各種資源を戦略的に配分するため、本校の運営方針に基づき、重点的に資源配分する仕組みを整備するとともに、事務組織の機能、編成等を見直し、事務処理の効率化・簡素化並びに事務職員及び技術職員の資質の向上に努めます。

地域貢献・地域開放事業

○男女共同参画推進活動

- ・高専の専門教育・学生生活のポスター発表
(理系女子フォーラムみえ、高専女子フォーラム in 関西)

○主に小・中学生向けの公開講座

- ・機械工学のひとこま
- ・楽しい電子回路工作
- ・マイコン電子制御
ーアルドウィーン de テクノワークー
- ・身のまわりのおもしろ化学実験
- ・材料工学科で学ぶ夏休み自由研究

○小・中学校への出前授業

鈴鹿市等の教育委員会と連携して実施しています。授業を受けた参加者からは理科が好きになったなどの声が多く聞かれます。

○技術相談

地域貢献の一環で技術相談を実施しています。技術相談から共同研究を実施したケースもありますので、お気軽にご連絡ください。

<連絡先> 総務課地域連携係 Tel : 059-368-1717



教育活動等

特色ある教育事業

■社会ニーズを踏まえたロボット人材育成事業

技術革新の変化が速いロボット技術分野の最先端をリードできる、産業界が求める人材を育成するために、教育プログラムの構築ならびに教育コンテンツの開発、整備等を進めています。



■情報セキュリティ人材育成事業

現在、サイバーリスクに対応できる人材の育成が国の緊急課題となっています。このニーズに応えるべく、高専の「情報セキュリティ人材育成事業」がスタートしました。鈴鹿高専は連携校として本事業に参画しています。



国際交流

学術交流協定を締結しているオハイオ州立大学（アメリカ）、ジョージアンカレッジ（カナダ）及び常州信息職業技術学院（中国）と交流を深めています。平成28年度は、オハイオ州立大学への学生派遣、ジョージアンカレッジへの語学研修、常州信息職業技術学院の学生等の受け入れを実施しました。さらに、マレーシア、インドネシア、モンゴルより留学生を受け入れ、国際交流の進展にも寄与しています。



学生の活躍（平成28年度）

- ・全国高等専門学校体育大会 優勝
陸上（男子400mリレー・男子走高跳・男子三段跳・女子走高跳）
- ・パソコン甲子園2016 グランプリ モバイル部門
- ・Ene-1GP SUZUKA KV-40 優勝 KV-2b 大学、高専、専門学校部門
- ・各種学会で講演・ポスター発表で受賞多数



学生数（平成29年4月1日現在）

学 科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科	40	44	44	44	45	47	224
電気電子工学科	40	43	47	46	38	40	214
電子情報工学科	40	45	48	41	35	38	207
生物応用化学科	40	45	47	44	36	42	214
材料工学科	40	41	45	42	44	40	212
合 計	200	218	231	217	198	207	1,071

専攻科	定員	1年	2年	計
総合イノベーション工学専攻	24	30	-	30
電子機械工学専攻	12	1	16	17
応用物質工学専攻	8	-	13	13
合 計	44	31	29	60

卒業後の主な進路（過去3年間）

○進学先

学科

鈴鹿高専 専攻科、北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、九州大学、広島大学、立命館大学 他

専攻科

筑波大学大学院、千葉大学大学院、東京工業大学大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、三重大学大学院、大阪大学大学院、九州大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、早稲田大学大学院 他

○就職先

学科

アイシン精機、旭化成、出光興産、井村屋、AGF 鈴鹿、NGK、NHK、大阪ガス、花王、カゴメ、関西電力、川崎重工業、麒麟ビール、コスモ石油、サントリープロダクツ、J S R、J R 東海、J R 東日本、資生堂、昭和四日市石油、新日鐵住金、住友電装、タイキン工業、中外製薬工業、中部電力、東京ガス、東京電力、東芝、東ソー、東邦ガス、東レ、T O T O、豊田中央研究所、ナブテスコ、ニコン、日本たばこ産業、パナソニック、富士ゼロックス、富士通、ブラザー工業、本田技研工業、三菱金属工業、三井造船、三菱重工業、三菱電機ビルテクノサービス、明治、ヤクルト、矢崎総業、ヤマザキマザック、ヤマハ発動機、L I X I L、ロート製薬 他

専攻科

アイシン精機、旭化成、川重岐阜エンジニアリング、川崎重工業、協同油脂、コロプラ、昭和四日市石油、住友電装、D I C、トヨタコミュニケーションシステム、日東電工、日立製作所、F I X E R、ヤマザキマザック 他

沿革

昭和37年 4月 1日 鈴鹿工業高等専門学校の設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足）
昭和41年 4月 1日 金属工学科を設置
昭和61年 4月 1日 金属工学科を材料工学科に改組
平成元年 4月 1日 電子情報工学科を設置
平成 2年 6月 5日 アメリカ・オハイオ州立大学工学部と学術交流協定を締結
平成 3年10月 9日 カナダ・ジョージアンカレッジと学術文化交流協定を締結
平成 5年 4月 1日 専攻科（電子機械工学専攻、応用物質工学専攻）を設置
平成 9年 4月 1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設
平成14年 4月 1日 共同研究推進センター発足
平成15年 4月 1日 電気工学科を電気電子工学科に改組
平成16年 4月 1日 文部科学省から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管
平成16年 5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」が日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定 平成18年 3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証
平成18年 4月18日 中国・常州信息職業技術学院と学術文化交流協定を締結
平成19年 4月 1日 一般科目を教養教育科に改組
平成24年11月 3日 創立50周年記念式典を挙行
平成24年11月26日 大阪大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流に関する協定、実習生派遣に関する覚書を締結
平成25年 3月27日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証
平成29年 4月 1日 専攻科（電子機械工学専攻、応用物質工学専攻）を1専攻（総合イノベーション工学専攻）に改組

施設紹介

図書館

所蔵図書は約10万冊あり、専門図書に限らず一般図書も多数所蔵しています。
また、一般の方々に生涯学習の場として開放しています。

開館日 平 日 9時～20時30分
土曜日 9時～17時
休館日 日曜、祝日

（学生イベント、夏季休業期間等で休館日・時間の変更がありますので、ホームページで確認してください）
<連絡先> 図書館 Tel : 059-368-1733



学寮

構内に4棟からなる学寮があります。各居室にはエアコン、有線LANが整備され、寮生は恵まれた環境の中で勉学に励み、快適な共同生活を送っています。

学寮は、友愛、協力、自立の精神を培い、技術者として必要な資質を養うための教育施設でもあります。そのために、毎日、教員が当直寮監として指導にあたり、規律ある生活ができるように配慮されています。



研究施設等

- ◆情報処理センター
- ◆クリエーションセンター
- ◆共同研究推進センター
- ◆青峰会館（学生食堂他）
- ◆イノベーション交流プラザ 他

○敷地面積 120,551平方メートル
○建物延面積 39,393平方メートル

研究活動

■科学研究費補助金・基金助成金 (平成29年度)	基盤研究(C)	7件
	萌芽研究	3件
	若手研究(B)	5件
	奨励研究	2件
■共同研究等(平成28年度)	民間等との共同研究	13件
	受託研究	9件
■奨学寄附金(平成28年度)		36件
■大学教育改革の支援事業等(平成28年度採択分)		
文部科学省・大学間連携共同教育推進事業		
工業所有権情報・		
研修館知的財産に関する創造力/実践力・活用力開発事業(展開型)		

収入・支出 (平成27年度)

収入	【単位：千円】	支出	【単位：千円】
運営費交付金	102,889		
授業料等収入	311,886	業務費	430,473
施設費	22,912	施設整備費	22,912
産学連携等研究収入	30,370	産学連携等研究費	11,829
寄附金収入	24,808	寄附金事業費	32,209
その他補助金収入	4,409	その他補助金事業費	4,259
合計	497,274	合計	501,682

教職員数 (平成29年4月1日現在)

校長	教授	准教授	講師	助教	事務職員	技術職員	再雇用	計
1	27	35	7	7	27	17	4	125

教員一覧

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
校長	博士	新田 保次	交通計画・地域計画				

機械工学科

教授 博士 佐藤 豊	機械加工学・材料力学	教授 博士 末次 正寛	破壊力学
教授 博士 近藤 邦和	流体工学	教授 博士 民秋 実	機械力学
教授 博士 藤松 孝裕	熱工学	准教授 博士 白井 達也	ロボット工学
准教授 博士 白木原香織	材料強度学・材料信頼性評価	准教授 博士 打田 正樹	制御工学
		准教授 博士 鬼頭みづき	伝熱工学・流体工学

電気電子工学科

教授 博士 近藤 一之	電子回路	教授 博士 奥田 一雄	電子機器・電子材料工学
教授 博士 川口 雅司	情報処理工学	教授 博士 横山 春喜	半導体デバイス工学
准教授 博士 花井 孝明	電子線工学	准教授 博士 辻 琢人	半導体工学
准教授 博士 西村 一寛	磁性材料・磁気工学	准教授 博士 柴垣 寛治	プラズマ工学・電子エレクトロニクス
准教授 博士 山田伊智子	半導体工学		
講師 博士 西村 高志	表面電子物性工学	助教 博士 橋本 良介	磁性材料・薄膜検査工学

職名	学位	氏名	専門分野	職名	学位	氏名	専門分野
----	----	----	------	----	----	----	------

電子情報工学科

教授 博士 飯塚 昇	無線通信工学	教授 博士 伊藤 明	電子計測
教授 博士 田添 文博	自然言語処理	准教授 博士 箕浦 弘人	バーチャルリアリティ
准教授 博士 森 育子	環境電磁工学	准教授 博士 青山 俊弘	情報工学・生理工学
准教授 博士 板谷 年也	計測工学・非破壊検査工学	准教授 博士 浦尾 彰	教育工学
助教 博士 森島 佑	情報理論・通信理論・誤り訂正符号	講師 修士 平野 武範	情報工学
		助教 博士 岡 芳樹	コンピュータグラフィックス

生物応用化学科

教授 博士 澤田 善秋	化学工学	教授 博士 長原 滋	有機合成化学
教授 博士 下野 晃	無機材料化学	准教授 博士 平井 信充	界面制御工学・電気化学
准教授 博士 山本 智代	機能高分子化学・キラル分析	准教授 博士 高倉 克人	構造有機化学
准教授 博士 山口 雅裕	発生生物学・比較内分泌学	准教授 博士 渋谷 真也	高分子合成化学
准教授 博士 甲斐 穂高	環境科学・排水処理	准教授 博士 小川亜希子	動物細胞工学・生化学工学
		助教 博士 今田 一姫	分子細胞生物学・分子遺伝学・微生物学

材料工学科

教授 博士 宗内 篤夫	燃料電池・電気化学	教授 博士 江崎 尚和	金属物理・合金設計
教授 博士 小林 達正	金属物理	教授 博士 兼松 秀行	熱表面処理工学・バイオフィルム工学
教授 博士 下古博司	低負荷環境材料	准教授 博士 和田 憲幸	無機光機能材料・分光分析
教授 博士 南部 智恵	金属物理・合金設計	准教授 博士 万谷 義和	金属組織学
准教授 博士 黒田 大介	加工熱処理学・金属組織学	助教 博士 小侯 香織	触媒化学
講師 博士 幸後 健	無機材料・電気化学		

教養教育科(人文社会)

教授 修士 久留原昌宏	日本近代文学・短歌創作論	准教授 修士 石谷 春樹	日本近代文学
講師 博士 藤野 月子	中国古代外交史	講師 博士 渡邊 潤爾	地域経済学
		講師 博士 熊澤 美三	日本近世文学・近世文化史

教養教育科(自然科学(数学))

教授 修士 伊藤 清	リー環論	准教授 博士 堀江 太郎	整数論・保型形式
准教授 修士 川本 正治	数学教育学	准教授 博士 大貫 洋介	代数学
准教授 博士 飯島 和人	代数学		(多元環の表現論)
		准教授 博士 豊田 哲	距離空間の幾何学・幾何学的群論

教養教育科(自然科学(理科))

教授 博士 田村陽次郎	ソフトマターの物理	教授 博士 仲本 朝基	原子核理論
准教授 博士 澤田 圭樹	物理化学	准教授 博士 丹波 之宏	生物物理学
准教授 博士 三浦 陽子	固体物理学		

教養教育科(外国語)

教授 修士 林 浩士	英語教育学	嘱託教授 学士 中井 洋生	英語学・言語学
准教授 博士 マイケルED-ソ	社会学	准教授 修士 日下 隆司	アメリカ文学
准教授 修士 松尾江津子	英文学	講師 修士 長井みゆき	TESOL・英語学

教養教育科(保健体育)

教授 学士 船越 一彦	トレーニング理論	助教 博士 村松愛梨奈	運動生理学
助教 修士 宝来 毅	スポーツバイオメカニクス		